

# 著書紹介

著者自らが新刊を紹介します。

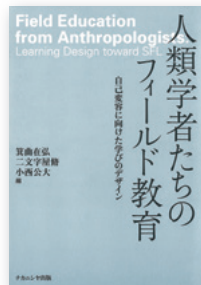


## 逃亡者の社会学

アメリカの都市に生きる黒人たち

交流文化学部・准教授・二文字屋 脩 (共訳)

- ▶ 四六判 ▶ 500ページ ▶ 亜紀書房
- ▶ 本体2,700円＋税 ▶ 2021年3月26日発行
- ▶ 社会学の巨人アーヴィング・ゴッフマンを父にもつ著者・アリスは、フィラデルフィアの黒人居住地区「六番ストリート」に6年間暮らし、さまざまな罪状で追われる若者たちと日々を過ごす。そこから見えてきたアメリカの現実をピピットに描き出す。



## 人類学者たちのフィールド教育 自己変容に向けた学びのデザイン

交流文化学部・准教授・二文字屋 脩 (共編著)

- ▶ A5判 ▶ 200ページ ▶ ナカニシヤ出版
- ▶ 本体2,400円＋税 ▶ 2021年3月31日発行
- ▶ この不確実な世界を生き抜くには何が必要か。課題解決型学習 (PBL) に自己変容型フィールド学習 (SFL) という新たな手法を実装する人類学者たちによる多様で革新的な教育実践に基づいたフィールドワーク教育への提案の数々を紹介。



## GDMで英語の授業が変わる

—英語脳を育てる理論と実践—

グローバル・コミュニケーション学部・  
教授・中郷 慶 (共著)

- ▶ B5判 ▶ 330ページ ▶ 大阪教育図書
- ▶ 本体2,800円＋税 ▶ 2021年11月12日発行
- ▶ 「英語で授業を」にもっとも有効な教授法のひとつである段階的直接法 (Graded Direct Method: GDM) に関する理論とともに、教室などにおけるGDMの実践方法や活用例が紹介されている英語教師必携の一冊。英語のリズムに関する執筆を担当。オーディオCD付属。



## 韓国財閥と政治

—大字を事例として—

初年次教育部門・助教・木下 奈津紀

- ▶ A5判 ▶ 152ページ ▶ 成文堂
- ▶ 本体3,000円＋税 ▶ 2021年8月30日発行
- ▶ 政経癒着のなかで成長を遂げた韓国財閥。本書は、1999年に解体された「大字グループ」を題材として、韓国財閥を政治史的な視点から考察し、韓国における財閥と政治の関係性を明らかにすることを試みた研究書。